

ポリゴン・キャピラリ

〈ポリゴン・キャピラリ〉は高い信頼性で単心光ファイバのアセンブリのコストダウンが可能です。従来、V溝基板とふたの2部品を必要としたアセンブリにおいて、〈ポリゴン・キャピラリ〉1部品でのアセンブリが可能です。

●特長

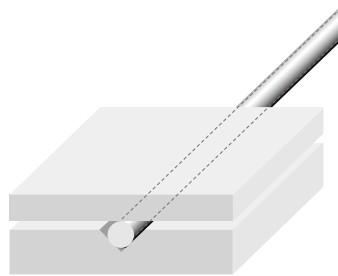
- 低価格
- アセンブリが容易
- 高信頼性



●アセンブリ例



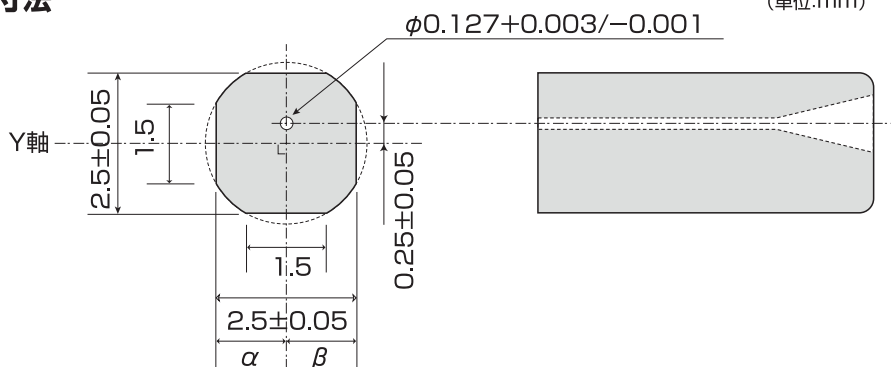
ポリゴン・キャピラリ使用



従来構造

●寸法

(単位:mm)



V溝基板

光通信網の大容量化および高速化の要求の高まりに伴い、光ファイバレイ型の光デバイスが注目されています。このような複数本の光ファイバの整列や調心にはV溝基板が使用されます。

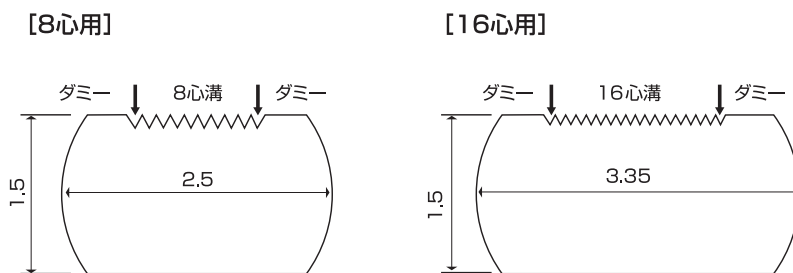
線引き成形技術を用いることにより、高精度なガラス製V溝基板を安価に提供できます。

●特長

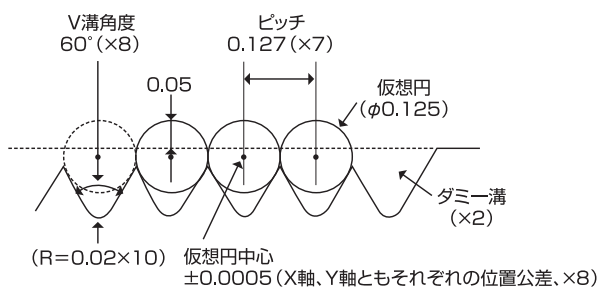
- 線引き成形により量産性に優れ、低価格を実現
- 高精度、サブミクロンに対応
- 熱加工により滑らかな溝

●V溝基板断面図

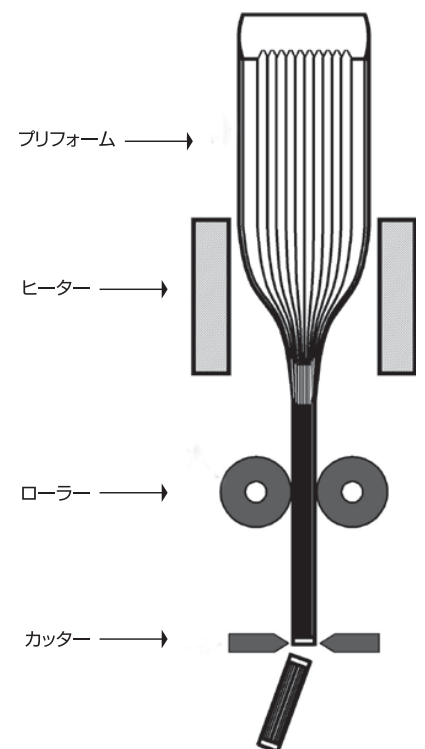
(単位:mm)



●V溝寸法



●製造工程



各心線のコア (仮想円中心) は、X軸、Y軸方向とも誤差 $\pm 0.5 \mu\text{m}$ の範囲内に位置します。